



開催日 平成28年2月20日(土)
開催時間 10:00~17:30
開催場所 県立広島病院 本館2階 講堂
(広島市南区宇品神田一丁目5番54号)

プログラム

【10:00-10:20】(20分)

1. 「日本医用画像情報専門技師会について」～医用画像情報専門技師の役割～

日本医用画像情報専門技師会 会長 守本 京平

【10:20-11:10】(50分)

2. 「DICOMの活用」～患者個人被ばく線量の管理について～

放射線医学総合研究所 医療情報室長 奥田 保男

【11:10-12:00】(50分)

3. 「医療機関のネットワーク構築について」～ポイントと障害対策～

ヴィエムウェア株式会社 ソリューション技術統括部

シニア ソリューション アーキテクト 岩丸 宏明

【12:00-13:00】(60分)

休憩

【13:00-13:50】(50分)

4. 「医療システムのDB構築技術からデータ2次利用まで」～HIS・RIS・PACS連携を考慮したDBとは～

日本アイ・ビー・エム株式会社グローバル・ビジネス・サービス事業

ヘルスケアサービス 医療営業部 伊藤 義顕

【13:50-14:50】(60分)

5. 「標準化導入の意義と実際」～試験に出た標準化・現場で使う標準化～

日本医用画像情報専門技師会 理事 向井 まさみ

【14:50-15:40】(50分)

6. 「DICOMデータの利活用で重要な5つの背番号を実践的に理解する」

～ブーメランもデータ移行もVNAもDICOMの基本は5つの背番号～

日本医用画像情報専門技師会 副会長 高峰 景敏

【15:40-15:50】(10分)

休憩

【15:50-16:40】(50分)

7. 「医用画像情報専門技師が考える画像情報」～システム・運用・データ活用～

JA山口厚生連 周東総合病院 総務課 情報システム管理者 河村 裕介

【16:40-17:30】(50分)

8. 「医療情報システムの構築と運用」～その現実と期待～

鳥取大学医学部附属病院医療情報部 教授 近藤 博史

参加資格：医用画像情報の管理/構築/運営に係る方・提供するベンダーの方（認定資格等は不問）

参加人数：80名

申し込み：HPの登録フォームより事前参加登録をお願いします。定員80名で締め切ります。

参加費：5,000円（冊子2,000円を含む）学生2,000円（冊子代のみ）当日会場受付にて集金。

医用画像情報専門技師ポイント(K15-032：8ポイント)・医療情報技師ポイント(15-051：3ポイント)

公認医療情報システム監査人(補)2ポイント(E15-2)

主催：日本医用画像情報専門技師会 (<http://www.jmiis.org/>)

後援：日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 日本放射線技術学会 医療情報部会

日本医療情報学会中国四国支部 広島県診療放射線技師会 広島県医療情報技師会

島根医療情報技術フォーラム 山口医療情報システム研究会

瀬戸内医療情報ネットワーク勉強会

事務局：日本医用画像情報専門技師会 (JMIIS) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15

問い合わせ：jmiis-office@umin.net